

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語（英語） 科目 論理・表現Ⅱ

教 科： 外国語（英語）

科 目： 論理・表現Ⅱ

単位数：

単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（AB組：石橋・安田・稲山）（CD組：石橋・植田・白濱）（EF組：石橋・安田・白濱）

使用教科書：（FACTBOOKⅡ English Logic and Expression（桐原書店））

教科 外国語（英語）

の目標：

【知識・技能】

外国語の音声・語彙・表現・文法・言語の働き等の理解を深め、これらの知識を用いて読む、聞く、話す、書くことによる実際のコミュニケーション場面において目的や場面、状況に応じて適切に活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的話題や社会的話題について外国語で情報・考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図等を的確に理解し、これらを活用して適切に表現しあったりする力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けることができる。 ・外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けること	・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現することができる。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合うことができる。	・外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 ・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 ・他者を尊重し、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する力を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 読 〕	話 〔 書 〕	書					
1 学 期	Unit 1 How should we lead a healthy lifestyle? 【知識・技能】 「主語の拡張」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・談話方略 ・主語の拡張 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・「主語の拡張」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたりして書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、健康的な生活を送るために必要なことについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	6
	Unit 2 Steps we can take to Zero Hunger 【知識・技能】 「目的語・説明語句の拡張」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・談話方略 ・目的語・説明語句の拡張 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・「目的語・説明語句の拡張」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたりして書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、貧困をなくすための手立てについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	6
	Thinking Logically 1 Donating the right kind of food 【知識・技能】 Unit 1-2の内容を理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 学んだ内容と自分自身のことを照らし合わせ、自分の持つ考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・要約のためのテクニック <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等					○	【知識・技能】 ・学んだ知識を用いて意見を明確に示す表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 自信の置かれた立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、発話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、趣味や興味関心について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	1
	定期考査								○	○		1
	Unit 3 What are good and bad sides of urbanization? 【知識・技能】 「名詞の説明」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・談話方略 ・名詞の説明 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・「名詞の説明」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたりして書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、大都市で起きている問題について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	7
	Unit 4 Is your city sustainable enough? 【知識・技能】	<指導事項> ・談話方略 ・動詞句の説明・文の説明						【知識・技能】 ・「動詞句の説明・文の説明」を理解している。				

	「動詞句の説明・文の説明」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等						・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、都市問題に対する解決策について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。				7			
	Thinking Logically 2 Well-managed city for the future 【知識・技能】 Unit 3-4の内容を理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 学んだ内容と自分自身のことを照らし合わせ、自分の持つ考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・要約のためのテクニック <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等						○ 【知識・技能】 ・学んだ知識を用いて意見を明確に示す表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 自信の置かれた立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、発話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、趣味や興味関心について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。				1			
	定期考査											○	○		1
	Unit 5 Which should be more priority: culture or the environment? 【知識・技能】 「時を表す表現」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・談話方略 ・時を表す表現 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等						○ 【知識・技能】 ・「時を表す表現」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、野生生物や環境の保護について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。					7		
	Unit 6 How to live a plastic-free life 【知識・技能】 「受動態」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・談話方略 ・受動態 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等						○ 【知識・技能】 ・「受動態」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、応答したり、理由を述べてたり書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、プラスチックパッケージの代替素材について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。					7		
	Thinking Logically 3 Thinking globally, acting locally 【知識・技能】 Unit 5-6の内容を理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。 【思考・判断・表現】 学んだ内容と自分自身のことを照らし合わせ、自分の持つ考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	<指導事項> ・要約のためのテクニック <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック ・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等						○ 【知識・技能】 ・学んだ知識を用いて意見を明確に示す表現を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 自信の置かれた立場や状況を理解し、適切な表現を用いて、発話したり、書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、趣味や興味関心について、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。					1		
2 学期	定期考査														1
	Unit 7 Helping others at home and abroad 【知識・技能】 「助動詞及び仮定法」について理解し、学んだ知識を持ちいて、適切に文を作ったり、表現したりできる。	<指導事項> ・談話方略 ・助動詞及び仮定法 <教材> ・教科書 ・準拠教材 マイノート ・準拠教材 ワークブック						【知識・技能】 ・「助動詞及び仮定法」を理解している。 ・学んだ談話方略についての知識を適切に運用している。 【思考・判断・表現】 相手の立場や状況を理解し、適切な表現							

【思考・判断・表現】 相手の発話に適切な応答をすることができる。また、多様な表現を用い、理由を述べるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 聞き手、話し手に配慮しながら、学んだことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりすることができる。	・総合英語FACTBOOK ・Bright Stage ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	を用いて、応答したり、埋田を述べたりして書いたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、NGOのはたらきについて、聞き手や読み手に配慮しながら主体的に話したり、書いたりしようとしている。	○	○	○	7
Unit 8 Challenges to equality	<指導事項>					【知識・技能】				

[illegible]